

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム  
実施状況および成果

プログラム名	アメリカ Penn State & NYC グローバルリーダーシップ短期研修プログラム	
学部・研究科名	工学部	
プログラム実施期間	2019年10月25日～11月5日	
研修先(国・都市・施設名)	アメリカ合衆国(ニューヨーク、ステートカレッジ他・ペンシルバニア州立大学他)	
参加学生数	5名	知の森からの支援者数
2名		2名
プログラム概要	本プログラムはグローバルな環境で、文化の多様性を尊重し、世界各国の人々と共に共通のゴールを達成するために動くことができる「グローバルリーダー」を育成することを目的とした。具体的には、1) 本学の国際学術交流協定校であるアメリカのペンシルバニア州立大学(Penn State)のグローバルエンゲージメントとリーダーシップ経験(GELE)プログラムに参加し、同大学アメリカ人学生と留学生と共に、グローバル社会におけるリーダーシップとは何かを議論し、発見し、リーダーに必要な異文化間コミュニケーションスキルを身につけること 2) ニューヨーク市の国際連合本部とアメリカ自然史博物館を訪問し、様々なグローバル問題を考え、持続可能な社会に向けて、プログラム終了後、行動ができるようになることであった。	

実施状況・成果

2019年10月25日～11月3日の10日間、本研修プログラムを実施した。プログラムの目玉はペンシルバニア州立大学のGlobal Engagement Leadership Experience (GELE)研修である。GELEは“Leadership is the art of motivating others to want to struggle for shared aspiration.”と定義しており、決してエンジニアに特化したものではないが、グローバルリーダーシップはグローバルエンジニアにとって不可欠なスキルである故、本学工学部生にはぜひ参加して欲しい内容のものと判断した。参加学生は、ペンシルバニアのポールドイーグル州立公園のロッジで、40名のペンシルバニア州立大学生(アメリカ人学生と留学生半々)と共に3日間を過ごした。毎晩12時過ぎまでグローバルリーダーシップやグローバル問題について語り合ったという。グローバルリーダーには、多文化理解と共感、特に宗教に対する理解、そして多様な意見を尊重しながらの決断力が必要であると思う、と学生からの報告にある。GELEを通してグローバルリーダーシップに対する理解を深めることができたことは確かだ。GELEに参加したペンシルバニア州立大学生とは今でもインターネット上で繋がり会話をしている様子である。GELEだけではなく、キャンパスツアー、研究室訪問、ハロウィーンパーティーなどを通して、多くの友達が出来たようだ。

国際連合およびアメリカ自然史博物館での探究活動の中で、宇宙展望から地球と世界平和、多文化共存を考えることができた実感する。特に、持続可能な開発目標17項目から1つの課題を選び、その課題の視点から、Global Caféで取り組んできた現実問題「エチオピア貧困農村部の女子が学校に行けない」の解決法を模索することを課題にした故、参加学生は帰国後も、Global Caféで積極的に活動を行っている。Global Caféで活動を共にするインターナショナルチームの中で英語コミュニケーション力が上達したのももちろん、自己発信力とリーダーシップ力も発揮できるようになったことが見受けられる。12月7-8日に行われるグローバル人材育成教育学会第7回全国大会にて、Global CaféのSDGsに対する活動報告をする予定だ。まずは、学内の英会話サロンGroovy Chatで、11月29日と12月5日の両日、報告会を行う予定である。

学生の声①-総合理工学研究科 学生

ペンシルベニア州立大学でグローバルリーダーシップ育成プログラムに3日間参加した。自分たちの文化とは全く違う文化を持つ国の方と初めて接する時はどうしたらよいのか学ぶアクティビティや、ステレオタイプに関するビデオの鑑賞、自分が安心するアイデンティティについて参加学生と意見交換した。私は以前からアメリカと聞いてイメージしていたものは銃が保有できる自分たちとは全く違う国であるということであったが、GELEに参加したことで私の“アメリカ”という考えはただのイメージであり、そのほとんどはネガティブなもので、真実ではないことを学んだ。大切なのは、SNSやテレビの情報と実際に自分が体験して感じたことを踏まえて、自分が正しいと感じたことを受け入れることであるとわかった。自分の英語に自信がなく、それを学生に伝えても「大丈夫、自信をもって」と言ってもらえた。できるできないは問題ではなく、大切なのは自分から声を出して会話に参加することであると学んだ。また、グローバルリーダーシップには多くの意見を踏まえて1つの決断をする力や共感することが大切であると知った。

学生の声②-総合理工学研究科 学生

ニューヨークでアメリカ自然史博物館と国連本部に行った。アメリカ自然史博物館では、Big Bang, Dark Universe, 恐竜などたくさん学べた。そして、博物館で働いている方々と交流でき、たくさん体験できた。国連本部では、国連の使命ややっていることを知り、会議中に会議室に入り、会議も観察できた。土曜日と日曜日には、ニューヨークの文化や食べ物をたくさん体験した。次はペンシルベニア州立大学に行き、たくさんの友達が出来た。アメリカの大学の文化も知ることができた。最後にグローバルリーダーを育成するプログラムに参加した。そこでグローバルリーダーについてアメリカの学生達と留学生達が話し合ったり、一緒に先生からの課題を考えたりした。非常に有意義なプログラムだと思う。今回のアメリカ Penn State & NYC グローバルリーダーシップ短期研修プログラムに参加し、たくさんのことが学べ、自己成長を遂げることができたと思う。

GELE参加学生たちと



国連の議場で

